



和光市議会議員

菅 原

すがわら 満 議会報告

平成31年第1号



埼玉県和光市新倉 3-14-21 tel/fax: 048-462-8180 PC✉@nehemiah@passion.biglobe.ne.jp



一般質問より (平成30年12月議会)

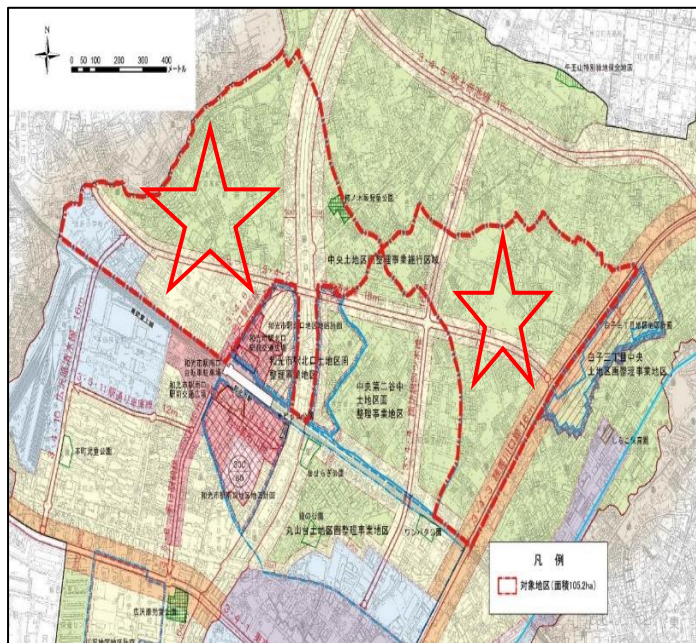


長期未着手土地区画整理事業の今後は？

《質問の背景》未着手となっている区域について、市は今後の方向性の検討を行ってきています。対象区域は、和光市新倉1丁目の一部、下新倉3丁目、下新倉4丁目の一部です。(右図：★印)

【菅 原】検討の今後の検討や地権者への説明はどうなるのか。土地利用への制限がある状態での影響はどう把握しているのか。

【建設部長】これまでの調査結果から新たな課題が出てきた。引き続きしっかりと検討を進めていく。区域内には、消防活動困難区域がある。建物は、3階以下で高さ10メートル以下と制限され、土地の有効利用ができない状態である。区画整理を見直す場合は、代替手法を活用して基盤整備を進め、良好な市街地形成に向けた誘導を図っていく必要があると認識している。



図は和光市 web「中央土地区画整理事業」より

循環バス運行見直しと既存路線と連携は？

【菅 原】従来の見直しでは、周知が行き届かず理解を得られなかった面もあるが、今後どのように進めていくのか。また、北インター区域区画整理の完了などを踏まえ、循環バスと既存の路線バスとの連携も含めて検討、要望をしていってはどうか。

【建設部長】北側コースについては、循環バス見直しの際、路線バスの利便性についても要望したい。循環バスについては、駅での乗換時間を整合するとか検討してみたい。さらに、路線バスとの連携に限らず、たとえばコンビニや公共施設をバスの待合場所にしてもらおうとか、現在9か所を「バス待ちスポット」として指定しているが、このような取組を進めて、バス利用の改善を図っていきたいと考えている。

大規模事業に備えた財政見通しと情報共有は？

【菅 原】焼却場建設、駅北口土地区画整理や高度利用、広沢複合施設整備、北インター東部整備、学校施設の大規模改修、市民文化センター改修といった事業が控えている。財源確保、健全財政運営、基金積立の見通しはどうなっているのか。

【企画部長】基金残高の確保、都市計画税の段階的引上げの増収、さらに、北インター土地区画整理地内の施設整備による増収効果があらわれているように、和光市のポテンシャルを生かしたまちづくりに時期を逸することなく確実に進め、市税の増収をはかり、強固な財政基盤を構築していく必要があると考えている。

【市 長】いかに投資的な財源を確保していくかという中、スクラップ・アンド・ビルドが必要であり、あるいは、投資を待つということも出てくるかと思う。厳しい中、時々判断を誤らないようにしていきたいと考えている。

◆◆◆和光市政の動きから◆◆◆

総合児童センター・プール棟改築整備に向けて

昨年 12 月に、広沢複合施設整備の優先交渉権者が審査委員会において決定され、その説明会が 1 月 25 日（木）に開催されました。また、提案価格は 52 億 8,706 万 4,476 円(税抜き)となっており、事業期間は、2041 年までです。次回の議会において議決されると、本契約となります。◆東エリア（広沢学童クラブ及び防災備蓄倉庫）2019 年 10 月から◆南エリア（保健センター）2021 年 3 月から◆北エリア（総合児童センター、市民プール及び民間収益施設）2022 年 1 月から、それぞれ開業予定としています。平成 30 年度予算において、関係費用を債務負担行為として議決していますが、提案内容や審査過程、事業見通しなど議会で確認に取り組んでいきます。



（図は和光市 web より「広沢複合施設・整備事業」）

http://www.city.wako.lg.jp/home/shisei/_13215/_12179/_16854/hirokoku/_18177.html

子育て支援の充実へ 公営保育所の役割を明確に

市内外の保育所への視察も行うなど、2017 年 12 月から慎重な検討を重ねてきた「和光市公営保育所在り方検討委員会」の報告書が、2019 年 1 月 18 日、市長へ報告されました。（委員会の検討経過は、市 web にて公開。）

保育施設の在り方の多様化、保育サービスの質の確保が大きな課題となっているとして、公設公営保育所の担うべき役割を明確にしていくなが必要があるとして検討されてきたものです。

公営保育所の新たな役割として、『市内保育所の情報共有・連携の橋渡し、市内保育施設の相談・を行うことなどが示されています。』さらに、『子育てケアマネージャーと連携して子育て世帯への支援を行う。』ということも示されています。人材の集約化と公設公営保育所の民設化の議論も行われおり、この公設公営保育所を一園にする点については、その是非についてなど委員の意見が示されています。

この報告を受けて、今後、市として具体的な施策の策定、保護者や市民への周知や説明を行い、実現に向けて取り組んでいくことと思います。この点、報告書でも触れていますが、保護者や市民への説明、理解を得て、体制整備も進め、保育の質や保育内容の工夫、地域の子育て支援にも取り組むという期待に応えるよう取り組んでいくことが求められます。

◆2040 年から今を見る？◆

1 月 31 日に平成 31 年度の予算概要の議会への説明が予定されています。「SDGs」や「将来の危機を克服する姿を想定した上で、現時点から取り組むべき課題を整理する。」という総務省の自治体戦略 2040 構想研究会の報告がされています。自治体行政が持続可能であるため、予算についてしっかりチェックすることが大切だと考えます。

☆☆☆すがわら満のプロフィール☆☆☆

◇国民民主党埼玉県連役員◇市議会・文教厚生委員会委員／和光市監査委員◇埼玉県秩父市出身◇都立豊島高校卒◇成蹊大学法学部卒◇1991 年(平成 3 年)和光市議会議員(現在 7 期目)◇1999 年(平成 11 年)山梨学院大大学院修士課程修了◇(公財)富士社会教育センター客員研究員

◆Tel&Fax 048-462-8180◆[http:// www.suga-man.net](http://www.suga-man.net)◆pc✉ nehemiah@passion.biglobe.ne.jp

◇◇ 北朝鮮による拉致問題の早期解決を!! 拉致被害者救出に向けた“しおかぜ”への応援を!! ◇